

分野：自然への愛着 生態系・生物多様性

みんなで守ろう！育てよう！よしみ里山プロジェクト

環境アドバイザー

田島 麻帆

対象

県内親子参加者 8名／全体 15名

所要時間



1時間

場所

埼玉県比企郡吉見町田甲

実施時期

令和4年 3月 13日

概要

みんなで守ろう！育てよう！よしみ里山プロジェクト

この活動は、埼玉県比企郡吉見町の雑木林を所有する山主から、人手不足で荒廃した林を何とか出来ないかと相談を受けたことがきっかけで2012年より保全活動を開始。数年間の手入れにより貴重な野草や野鳥の観察まで回復。2018年より親子向け野外ワークショップ活動を実施し、森林ESDや里山保全活動を継続している。

プログラムの
ねらい

テーマ 木をうえる（3月）振替活動

活動地は、クヌギやコナラの広葉樹の雑木林です。3年前から実施している果樹類の植樹を体験し、花が咲き始めた梅や、ミカン類の果樹などが育つ様子を観察します。

プログラムの内容

1 13:00~14:00 (60分)

午後活動 里山の木の植樹

活動地で、3年前から育てはじめている果樹の生育の様子、梅の開花を観察する。

2から3月に植樹を体験する。

植える前に、根回りに穴を掘り、腐葉土と、赤玉土などを適当に混合した土をつくる。

植えた後に、雨水タンクの水をバケツにくみ、根回りへの水やりを行う。

・日本の里山は、森林がもたらす豊かな恵みを暮らしに活かしてきた日本人独特の関わりの場。人と生き物が共に生きる自然環境である。活動地は、クヌギやコナラなどが大きく成長している。吉見の風土にあう果樹を植え、その成長の観察や、伐採した木を利用した檜木でしいたけを育て、きのこの成長を観察する。

受講者の反応

- ・穴が掘りやすい場所と、穴が掘りづらい場所があり、土の様子の違いを体感できた。
- ・はじめて、果樹を植える体験をしたので楽しかった。

環境学習の様子（写真）



左上：果樹の植樹

穴掘り、腐葉土を混ぜて、木を植える

右上：果樹の植樹

穴掘り、腐葉土を混ぜて、木を植える